

武田病院の新任ドクターを紹介します



足の外科センター長
整形外科 部長
牧 昌弘



脳卒中センター 医長
鎌田 貴彦



泌尿器科 医長
鈴木 良輔



消化器センター
富田 侑里



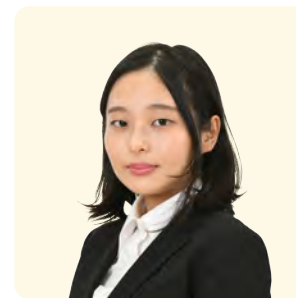
脳卒中センター
山下 陽生



放射線科 専攻医
李 徳子



初期臨床研修医
廣瀬 昇吾



初期臨床研修医
安井 一恵

国際医療支援室が生まれ変わりました。

外国人旅行客の入国が解禁となり、ケガや病気で来院される外国人患者さんが増えています。その為、診療の通訳サポートだけでなく、地域連携や多様な医療サービスが重要となってきました。それに伴い、本年 4 月から国際医療連携室を患者サポートセンターに統合し、新たに「外国人医療支援部門」として「地域医療支援部門」、「病床管理部門」、「医事部」と協力し、外国人患者さんが安心して医療を受けられるよう、コンシェルジュ機能を強化した医療コーディネートを行います。

医療通訳スタッフ



受付時間

月曜日～金曜日 8:30～19:00 土曜日 8:30～17:00
※日曜日・祝日・祭日・年末年始はお休みいたします。

医療機関専用

TEL(075)361-1352 (直通)
FAX(075)361-1337 (専用)

※患者サポートセンターの受付時間外につきましては、医事部(医療事務)にて対応いたします。

TEL (075)361-1351 (代表) FAX (075)361-1268 (医事部専用)



武田病院



患者サポートセンター

康生会 武田病院

2023年 春号

地域医療連携だより

理念

- ・思いやりの心
- ・地域社会の信頼
- ・職員相互の信頼

基本方針

- ・ブリッジ・ザ・ギャップス
- ・患者さんの権利尊重
- ・信頼の医療に向けて
- ・地球にやさしい環境づくり

環境方針

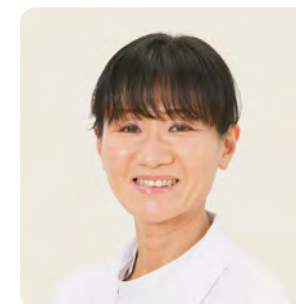
- ・省資源・省エネルギーの推進
- ・廃棄物の3R
(減らす、再使用、再資源化)の推進
- ・安全性・快適性の推進
- ・環境広報活動の推進



透析センター
センター長
川上 享弘

武田病院透析センターは昭和 51 年 1 月に人工透析センターの名称で運用を開始し、本年で 48 年目に入りました。

現在は入院透析と外来透析に対応し、送迎サービスも行っており、近隣の方や京都市内の患者さんの透析医療を担っています。慢性腎臓病の外来治療だけでなく、透析必要時には内シャント手術や血管トラブル時のバルーン拡張術に至るまで幅広く対応が可能です。地域の先生方に置かれましては、安心して当センターに患者さんをご紹介下さい。



着任挨拶
透析センター
部長
乾 恵美

令和 4 年 10 月 1 日に着任しました。専門は慢性腎不全、血液浄化療法です。前勤務先では、教育入院を含めた保存期腎不全治療、維持透析管理、急性血液浄化療法、COVID-19 陽性腎不全患者さんの治療を行ってきました。

武田病院でも多職種連携を図り、腎臓リハビリテーションや栄養管理を始めとしたフレイル予防、社会資源活用などに力を入れて参ります。

○専門医：日本透析医学会・日本腎臓学会

透析センターの概要



ベッド数：15 床

on-line HDF 対応

病状に応じ、院内個室対応可能

スタッフ

医師：2 名 臨床工学技士：8 看護師：3 名 事務：1 名

個室用透析装置：2 台

各種アフェレーシス対応可能

令和 4 年度実績

新規導入患者：9 名

透析件数：6294 件

シャント治療：83 件

急性期の個室透析対応について

当院では透析対応が可能な陰圧室を 7 部屋完備しています。感染症や合併症など病状によって個室対応が必要な患者さんに対して透析を提供しています。

COVID-19 透析実績

陽性患者 9 名

濃厚接触者 10 名

グループ病院への搬送 6 名



京都駅前武田透析クリニックとの連携

当院から徒歩 5 分の近隣に、同じ医療法人財団康生会の「京都駅前武田透析クリニック」があります。当院退院後の外来透析や、夜間透析、個室または準個室での透析をご希望の患者さんには、クリニックをご紹介します。また、クリニックで体調不良の際は、当院と連携で病状に迅速に対応いたしますので、ご安心下さい。

腎不全外来にご相談下さい

要予約

月曜日 14:00 ～ 16:00 担当 乾 恵美

火曜日 14:00 ～ 16:00 担当 川上 享弘

腎不全外来では、慢性腎臓病の患者さんを中心に腎不全の進行を少しでも遅らせる診療を実施しています。eGFR45 以下が対象です。

服薬、食生活、運動、血圧管理など生活のすべてが治療対象です。患者さんの治療方針が定まれば、日々の管理はかかりつけの先生にお願いし、数か月に一度当科でフォローをする病診連携を行います。



pick up!

- 外来と入院、両方の血液透析を実施
- 月～土 午前、午後の 2 クール制
- 救急患者、重症化や緊急合併症などにも対応
- シャント関連（新規、閉塞、狭窄）の治療
- 透析患者さん専用車による、市内無料送迎サービス
- センター内無料 Wi-Fi 完備

透析センターの特徴

透析センターの活動

フットケアについて

透析患者さんの足は、様々な原因で血流障害による冷えや皮膚障害などを起こしやすくなっています。その為、当院ではフットケア指導士らとともに、定期的な足の観察、必要に応じた専門的ケアを行っています。また、自己管理のポイントなども説明して、自宅でも継続できるよう指導しています。



栄養管理について

当院では管理栄養士が、病状に応じてエネルギー、たんぱく質、塩分、カリウムの適正な摂取量を、資料を使いながら患者さんに分かりやすく説明をしています。また、透析導入後も、透析時間内にベッドサイドへ伺い、継続的な指導をしています。



透析中の運動療法！！

腎臓リハビリテーションガイドラインの講習修了医師、理学療法士、看護師、計 5 名体制で透析中の運動療法に取り組んでいます。

- 運動習慣の習得、筋力の維持向上
- 心機能や低栄養状態、貧血の改善
- 透析効率の向上

運動療法の目的

